

2024年11月6日
2024世界自動車博物館会議 日本大会
実行委員会事務局

【開催報告】アジア初の「世界自動車博物館会議」開催 日本車の魅力と日本のクルマ文化を世界にアピール

～11月9日には本会議を振り返るオンライン報告会を開催～

2024年10月29日(火)から11月1日(金)の期間、国立科学博物館などが加盟する全国科学博物館協議会の下に国内全自動車メーカーによる実行委員会を組織して、“オールジャパン”体制で「2024世界自動車博物館会議 日本大会」が行われ、17カ国から約200名が参加しました。



World Forum for Motor Museums

温故知新 Hindsight Insight Evolution 2024 Japan

本会議は、1989年に第1回会議が英国で行われ、その後2年に1回欧米で開催され、今回17回目で初めてアジア、日本での開催となりました。日本の自動車博物館がホスト館として皆さまをお迎えし、日本車の魅力や日本の自動車文化を世界にアピールするとともに、世界各国の博物館関係者と親交を深める貴重な機会となりました。

10月30日・31日の会場となったトヨタ博物館(愛知県長久手市)では、『温故知新 / Hindsight Insight Evolution』、過去を学び(Hindsight)、知見を深め(Insight)、今後につなげていく(Evolution)をテーマに、8つのディスカッションが行われました。オープニングで世界自動車博物館会議運営委員会のマイケル・ペン議長は「人間にとってのコミュニケーションの最良の形は対面である。この会議では顔を合わせて話すことができ、同じ経験を共有できるので、言葉を超えて、より多くのネットワークを築きましょう。」と述べ、布垣実行委員長は「日本でのクルマの文化的価値を高めるためにも、この会議がここ日本で行われ、共に議論できることに興奮しています。」と挨拶しました。

